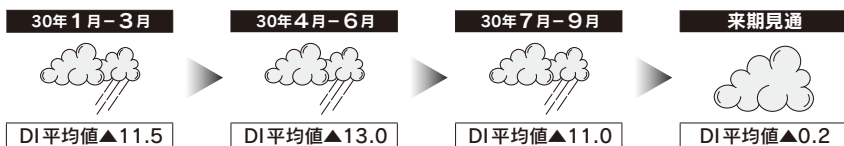


県内中小企業(製造業)景況動向

平成30年7月9日期

一部で好転の兆しも、人手不足感は一層強まる

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲23.3	▲33.4	▲38.1	▲13.0
<p>同期比の売上高DIは▲32.6、収益性DIは▲43.5で、両方を合わせたDI平均値は▲38.1となり「雨」模様が続いている。来期見通しは25.1ポイントの大幅上昇で▲13.0となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲34.8、収益性DIは▲46.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは26.8、設備操業率DIは▲23.1、設備投資実施率は26.7%となった。</p>			

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲8.7	▲1.7	▲5.6	▲5.6
<p>同期比の売上高DIは「増加」「減少」ともに25.9で0.0、収益性DIは▲11.1で、両方を合わせたDI平均値は▲5.6となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは今回調査と同じく▲5.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲7.2、収益性DIは5.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは16.7、設備操業率DIは「上昇」「下降」ともに16.7で0.0、設備投資実施率は11.5%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲11.0となり、前回調査(30年4-6月期)の▲13.0から2.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては10.8ポイント上昇して▲0.2となっている。

売上高DI(同期比)については▲6.4となり、前回調査から1.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては10.3ポイント上昇して3.0となっている。

収益性DI(同期比)については▲15.6となり、前回調査から3.0ポイント上昇している。来期見通し

においては11.3ポイント上昇して▲4.3となっている。

業況DI(同期比)については▲9.2となり、前回調査から2.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては9.6ポイント上昇して0.4となっている。

原材料価格DI(前期比)については47.5となり、前回調査から3.4ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については4.0となり、前回調査から0.9ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲7.9となり、前回調査から2.5ポイント上昇し、好転している。

金融機関の態度DI(前期比)につ





いては前回調査同様0.8となり、変化は見られない。

設備投資実施率については29.3%となり、前回調査から1.5ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは「プラスチック製品・機械・機器」で、目的別では「品質向上」が24.7%でトップとなっている。また、来期の設備投資計画率については37.3%となった。





設備操業率DI(前期比)については▲7.5となり、前回調査から1.5ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については27.2となり、前回調査から1.3ポイント上昇し、不足感が増している。





紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲10.7	15.4	6.3	2.9
<p>同期比の売上高D Iは25.0、収益性D Iは▲12.5で、両方を合わせたD I平均値は6.3となり「曇」模様になっている。来期見通しは3.4ポイント下降して2.9となるものの「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」「減少」ともに11.8で0.0、収益性D Iは▲23.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは31.3、設備操業率D Iは▲11.7、設備投資実施率は11.8%となった。</p>			





木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲20.8	▲18.2	▲21.6	▲4.2
<p>同期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲25.0で、両方を合わせたD I平均値は▲21.6となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは17.4ポイント上昇して▲4.2となり「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」「減少」ともに16.7で0.0、収益性D Iは▲8.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは33.4、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は8.3%となった。</p>			





金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲3.1	0.1	10.7	17.9
<p>同期比の売上高D Iは14.3、収益性D Iは7.1で、両方を合わせたD I平均値は10.7となり「薄日」模様になっている。来期見通しは7.2ポイント上昇して17.9となるものの「薄日」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは14.3、収益性D Iは▲4.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは24.0、設備操業率D Iは4.0、設備投資実施率は23.1%となった。</p>			





窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲21.6	▲26.2	▲32.5	▲11.3
<p>同期比の売上高D Iは▲30.0、収益性D Iは▲35.0で、両方を合わせたD I平均値は▲32.5となり「雨」模様になっている。来期見通しは21.2ポイントの大幅上昇で▲11.3となり再び「小雨」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲42.5、収益性D Iは▲40.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは8.6、設備操業率D Iは▲28.6、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲22.2	▲23.1	▲20.0	▲10.1
<p>同期比の売上高D Iは▲26.7、収益性D Iは▲13.3で、両方を合わせたD I平均値は▲20.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは9.9ポイント上昇して▲10.1となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは6.7、収益性D Iは7.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは50.0、設備操業率D Iは23.1、設備投資実施率は53.3%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
1.7	▲3.4	9.0	11.9
<p>同期比の売上高D Iは13.4、収益性D Iは4.5で、両方を合わせたD I平均値は9.0となり「曇」模様が続いている。来期見通しは2.9ポイント上昇して11.9となり「薄日」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは22.0、収益性D Iは7.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは35.7、設備操業率D Iは3.6、設備投資実施率は48.5%となった。</p>			